

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 職能開発科	学年	1年	学習グループ	A組(10人)	教科等名	職業に関する専門科目(流通)
年間授業時数	186	使用教室	3棟流通実習室	実習棟流通実習室	使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員	月曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 大宮善勝 阿部恵津子 西村結衣 河上和哉	
	水曜日	1～4校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 西村結衣 河上和哉	
ねらい	(1) 流通諸作業の経験を通して、仕事の意味について考える機会とする。						
	(2) 基本的な清掃用具の種類と様々な箇所での活用の仕方を知る。						
	(3) 安全な運搬作業に必要な基本的機器とその簡単な扱い方、また、倉庫の役割について知る。						
学期	単元名	月	時数	主な指導内容	ねらい	手だて	
1 学期	①オリエンテーション ②清掃業務 ・体の使い方 ・基本的な清掃用具 等 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・基本的な体の使い方 ・フォークリフトの基本操作の練習	4	4	①1年間の学習について(流通とは、1年間の流れ、持ち物など) ②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	①1年間の学習予定を知り、学習への見通しをもつ。 ②基本的な清掃用具の扱い方を知る。	①「清掃」「運搬」「事務」「商品管理」の4つの柱で説明をする。 ②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ個別指導を行う。	
		5	4	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		6	27	④基本的なマテハン機器(台車、かご車、パレット、ハンドリフトなど) ・フォークリフトの装置の理解	④荷物を持ち上げる時の安全な姿勢の保持の仕方を知り、身に付ける。 ・基本的なマテハン機器の役割と扱い方について知る。 ・フォークリフトの役割を知り、安全な操作方法を身に付ける。	④必要に応じ荷物の重さを変えるなど、各生徒の体力を十分考慮しながら作業を進める。	
		7	28				
2 学期	①インターンシップ ・事業所や企業における職場体験 ②商品管理 ③清掃業務 ・各教室の清掃 ・廊下、階段清掃 等 ④事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ⑤運搬業務 ・フォークリフトの基本操作の練習	9	28	①事務、物流、清掃、喫茶等の産業現場にて体験 ②棚卸し作業、ピッキング	①実際に働くことを学び、自分の進路について考える気概を得る。 ②倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握)	①学科全体で情報共有を適時行い、実習先との連絡を確実に行う。事前、事後学習は実態に応じて取り組む。 ②手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。	
		10	28	③タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	③基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、各教室の清掃の仕方を覚える。	③マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		11	4	④はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など	④様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	④マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		12	4	⑤フォークリフトの基本走行練習(前進、後退)	⑤フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	⑤安全に走行することの必要性を常に説明し、体制や場所など安全を十分に考慮したうえで、実践に移る。	
3 学期	①商品管理 ②清掃業務 ・各教室の清掃 ・廊下、更衣室清掃 ・視聴覚清掃 等 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・フォークリフトの基本操作の練習	1	28	①棚卸し作業、ピッキング	①倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握)	①手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。	
		2	28	②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	②基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、各教室の清掃の仕方を覚える。	②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		3	3	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など ④フォークリフトの基本走行練習(前進、後退)	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。 ④フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。 ④安全に走行することの必要性を常に説明し、体制や場所など安全を十分に考慮したうえで、実践に移る。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 職能開発科	学年	1年	学習グループ	B組(10人)	教科等名	職業に関する専門科目(流通)
年間授業時数	186	使用教室	3棟流通実習室	実習棟流通実習室		使用教科書	なし
曜日・校時 担当教員	月曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 大宮善勝 阿部恵津子 西村結衣 河上和哉	
	水曜日	1～4校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 西村結衣 河上和哉	
ね ら い	(1) 流通諸作業の経験を通して、仕事の意味について考える機会とする。						
	(2) 基本的な清掃用具の種類と様々な箇所での活用の仕方を知る。						
	(3) 安全な運搬作業に必要な基本的機器とその簡単な扱い方、また、倉庫の役割について知る。						
学期	単元名	月	時数	主な指導内容	ねらい	手だて	
1 学 期	①オリエンテーション ②清掃業務 ・ 地域清掃 ※週1回、通年で学習する ③事務作業 ・ 事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・ 基本的な体の使い方 ・ フォークリフトの基本操作の練習	4	27	①1年間の学習について(流通とは、1年間の流れ、持ち物など) ②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	①1年間の学習予定を知り、学習への見通しをもつ。 ②基本的な清掃用具の扱い方を知る。	①「清掃」「運搬」「事務」「商品管理」の4つの柱で説明をする。	
		5	28	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・ 印刷、PC作業など	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ個別指導を行う。	
		6	28	④基本的なマテハン機器(台車、かご車、パレット、ハンドリフトなど) ・ フォークリフトの装置の理解	④荷物を持ち上げる時の安全な姿勢の保持の仕方を知り、身に付ける。 ・ 基本的なマテハン機器の役割と扱い方について知る。 ・ フォークリフトの役割を知り、安全な操作方法を身に付ける。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		7	4			④必要に応じ荷物の重さを変えるなど、各生徒の体力を十分考慮しながら作業を進める。	
2 学 期	①インターンシップ ・ 事業所や企業における職場体験 ②商品管理 ③清掃業務 ・ 各教室の清掃 ・ 廊下、階段清掃 等 ④事務作業 ・ 事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ⑤運搬業務 ・ フォークリフトの基本操作の練習	9	4	①事務、物流、清掃、喫茶等の産業現場にて体験 ②棚卸し作業、ピッキング	①実際に働くことを学び、自分の進路について考える気概を得る。 ②倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握)	①学科全体で情報共有を適時行い、実習先との連絡を確実に行う。事前、事後学習は実態に応じて取り組む。	
		10	28	③タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	③基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、各教室の清掃の仕方を覚える。	②手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。	
		11	28	④はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・ 印刷、PC作業など ⑤フォークリフトの基本走行練習(前進、後退)	④様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。 ⑤フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	③マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		12	28			④マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
3 学 期	①商品管理 ②清掃業務 ・ 各教室の清掃 ・ 廊下、更衣室清掃 ・ 視聴覚室清掃 等 ③事務作業 ・ 事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・ フォークリフトの基本操作の練習	1	4	①棚卸し作業、ピッキング	①倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握)	①手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。	
		2	4	②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	②基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、各教室の清掃の仕方を覚える。	②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		3	3	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・ 印刷、PC作業など ④フォークリフトの基本走行練習(前進、後退)	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。 ④フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
						④安全に走行することの必要性を常に説明し、体制や場所など安全を十分に考慮したうえで、実践に移る。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 職能開発科	学年	2年	学習グループ	流通選択 (10人)	教科等名	職業に関する専門科目 (流通)
年間授業時数	400	使用教室	3棟流通実習室	実習棟流通実習室	使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員	火曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 岡田憲昭 和智幸香 西村結衣	
	木曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 岡田憲昭 和智幸香 西村結衣	
ねらい	(1) 流通やサービスに関する基本的な知識と技術を習得する。						
	(2) リーダーと支える人の立場を理解し、チームで互いに支え合いながら仕事をする。						
	(3) 職場実習や現場実習の体験を毎日の生活や進路に関連づけて考える。						
学期	単元名	月	時数	主な指導内容	ねらい	手だて	
1学期	①オリエンテーション ②清掃業務 ・地域清掃 ・体の使い方 ・基本的な清掃用具 等 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ・事務倉庫管理 ④運搬業務 ・基本的な体の使い方 ・フォークリフトの基本操作の練習 ⑤事業所見学 ※通年 受注作業	4	34	①1年間の学習について (2年生の学習内容、流通についてなど) ②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージーなど	①1年間の学習予定を知り、学習への見通しをもつ。 ②1年生の学習を振り返り、清掃用具の正しい扱い方の定着と共同作業の進め方について学ぶ。	①5Sと倉庫作業のポイントが分かるように、具体例を用いながら説明する。 ②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ個別指導を行う。	
		5	40	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		6	42	④基本的なマテハン機器 (台車、かご車、パレット、ハンドリフトなど) ・フォークリフトの装置の理解 ⑤TOYOTA L&Fカスタマーセンター東京	④荷物を持ち上げる時の安全な姿勢の保持の仕方を知り、身に付ける。 ・基本的なマテハン機器の役割と扱い方について知る。 ・フォークリフトの役割を知り、安全な操作方法を身に付ける。 ⑤世界で活躍する日本の企業の取り組みを知る。	④必要に応じ荷物の重さを変えるなど、各生徒の体力を十分考慮しながら作業を進める。 ⑤企業での取り組みが学校での学習にも生かされていることが分かるような説明をする。	
		7	30				
2学期	①商品管理 ②清掃業務 ・各教室の清掃 ・廊下、更衣室清掃 ・印刷室、音楽室 ・視聴覚室清掃 等 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・フォークリフトの基本操作の練習 ※通年 受注作業	9	44	①棚卸し作業、ピッキング (大物ピッキング、ねじピッキング) ②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージー、ポリッシャーなど	①倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握) ②基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、決められた時間内で各教室の清掃ができるようになる。	①手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。 ②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		10	48	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		11	44	④フォークリフトの基本走行練習 (前進、後退)	⑤フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	④安全に走行することの必要性を常に説明し、体制や場所など安全を十分に考慮したうえで、実践に移る。	
		12	35				
3学期	①商品管理 ②清掃業務 ・各教室の清掃 ・廊下、更衣室清掃 ・視聴覚清掃 等 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ④運搬業務 ・フォークリフトの基本操作の練習 ※通年 受注作業	1	25	①棚卸し作業、ピッキング (大物ピッキング、ねじピッキング) ②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、スクイージー、ポリッシャーなど	①倉庫作業の基本的なポイントについて学ぶ。(ロケーション管理、在庫数の把握) ②基本的な清掃用具の扱い方を身に付け、各教室の清掃の仕方を覚える。	①手と目を使った共同動作による数量確認を行う。基本的なポイントを押さえた手順書を使用する。 ②マニュアルを活用し、スモールステップで課題設定する。また、必要に応じ、動線や清掃道具の使い方の確認を行う。	
		2	33	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。	
		3	25	④フォークリフトの基本走行練習 (前進、後退、クラック、バック)	④フォークリフトを正しく操作し、安全に走行する。	④安全に走行することの必要性を常に説明し、体制や場所など安全を十分に考慮したうえで、実践に移る。	

令和6年度 東京都立足立特別支援学校 年間指導計画

学部	高等部 職能開発科	学年	3年	学習グループ	流通選択 (12人)	教科等名	職業に関する専門科目(流通)
年間授業時数	406	使用教室	3棟流通実習室	実習棟流通実習室	使用教科書	なし	
曜日・校時 担当教員	火曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 櫻井孝一 岡田憲昭 和智幸香 西村結衣	
	木曜日	1～6校時	MT	松本守弘	ST	太田朝紀 豊田育広 櫻井孝一 岡田憲昭 和智幸香 西村結衣	

- ねらい
- (1) 流通に関する基本的な知識と技術を身に付ける。
 - (2) 社会人としてのコミュニケーション能力、マナーを身に付ける。
 - (3) 働くことの意義を理解して、自分のためだけでなく人の役に立つことを意識できるようにする。

学期	単元名	月	時数	主な指導内容	ねらい	手だて
1 学期	※①のオリエンテーションを除いて、②から⑩の学習内容について、通年で指導する。 ①オリエンテーション ②清掃業務 ・食堂 ・視聴覚室、体育館 教室、廊下、更衣室 ③事務作業 ・事務周辺諸作業に必要な基本的用品、機器 ・印刷、丁合、綴じ ・製本 ④運搬業務 ・台車、カゴ車、ハンドリフト操作 ・荷物の持ち方 ・備蓄倉庫管理	4	34	①1年間の学習について (3年生での学習内容、授業計画、目標など)	①1年間の学習予定を知り、学習への見通しをもち、意欲を高める。	①プリントを活用しながら、説明をする。場面によっては個別支援を行う。
		5	40	②タオル、自在ぼうき、文化ちりとり、モップ、ダスタークロス、ポリッシュャー、スクイージーなど	②様々な場所の清掃方法や清掃用具の正しい扱い方の定着と共同作業の進め方について学ぶ。	②師範動画を個人のタブレット端末に取り入れ、自分で確認しながら作業できるようにする。また、必要に応じ個別指導を行う。
		6	42	③はさみ、定規、ステープラー、カッターナイフなど ・印刷、PC作業など ④基本的なマテハン機器 ・台車、かご車 ・パレット ・ハンドリフトなど	③様々な事務周辺諸作業に必要な用品、機器の種類と使用方法を知る。 ④腰を痛めない荷物の持ち方を身に付ける。 ・運搬のための道具を安全かつ適正に利用することができる。 ・ロケーションを利用し、5Sを意識した整理の仕方を覚える。	③マニュアルや個別の指導により、道具や機器の使い方を指導する。 ④一連の運搬作業の中で荷物の持ち方をアドバイスする。 ・運搬で使用する道具の安全で正しい使い方を意識させる。
		7	30	⑤特別教育修了証取得に向けたフォークリフト操作練習	⑤7月に全員が「特別教育修了証」を取得できるように練習を積み重ねる。	⑤検定用コースで走行練習する。
2 学期	⑤フォークリフト特別教育 ⑥受注作業 ・外部からの委託を受けて ⑦在庫管理 ・大物ピッキング ・ねじピッキング ⑧KYT ⑨会場設営 ⑩技能競技会	9	44	⑥エムジーハウスの受注業務	⑥納期を意識し、正しい作業工程を守り、正確な作業ができるようにする。	⑥手と目を使った共同動作による数量確認を行う。
		10	48	⑦様々なピッキングの方法、バーコードリーダーの活用	⑦ピッキング動作の工程を意識し、ミスなく作業できるようにする。 ・間違えやすい細かい物品のピッキングを正確にできる。	⑦ピッキングサインと指差し確認を徹底することができるよう、言葉掛けや資格支援により意識させる。
		11	44	⑧いろいろな場面における危険予知トレーニング ⑨学校行事、学科の行事における会場設営	⑧KYTの意識を常に持つことができるようになる。 ⑨時間を意識し、指示されたとおりに正確に作業を進めることができる。	⑧プリント学習での知識を実際の作業の中で意識できるようにする。 ⑨メジャーや会場設営に必要な道具の使い方を一緒に取り組むことで習得できるようにする。
		12	35	⑩清掃作業、フォークリフトによる技能競技会の実施	⑩3年間の集大成として、各種目に全力で取り組めるようにする。	⑩技能競技会の意義を伝え、緊張感をもって取り組めるようにする。また、当日に自信をもって取り組めるような練習量を確保する。
3 学期		1	25			
		2	36			
		3	28			